PRO 研究会 2021-1-(7) の修正について

池田崇史, 結縁祥治(名古屋大学)

発表資料について 5月 11 日提出の原稿から以下の点について、修正を行いました。

内容的に変更した点は、while ループにおける wn という構文要素を削除したことから生じる修正です.

- 1. p2. 図 1(6行目) S の定義中「while wn C do P od」から「while C do P od」 に変更
- 2. p.2 右最終行「bn, an, wn, pn, fn, cn」を 「bn, an, pn, fn, cn 」に変更 (wn を削除)
- 3. p.3 図 2 8 行目 while w1 (agent1 == 1) do から while (agent1 == 1) do に変更 17 行目 while w2 (agent2 == 1) do から while (agent2 == 1) do に変更
- 4. p.4 表 1 内 w_label w_end 削除し, nop の番号を 19 に変更
- 5. p.5 図 6 内 w_label, w_end に対する inv 定義の削除
- 6. p.5 図 7 ラベルスタックに積まれる値を (N-a+1,p) から (a,p) に変更

逆方向ジャンプの label 0 を nop 0 に変更 逆方向ジャンプの rjmp 0 を rjmp N に変更

- 7. p.6 \boxtimes 8 w_laxbel, w_end \rightarrow label
- 8. p.6 左 3.2.1 の最後の段落において、 図 8 の説明を修正
- 9. p.8 左 3.3.2 の振舞定義の箇条書きから w_label, w_end を削除 (f_return と nop の間の項目を削除)
- 10. p.9 図 11 PC=10と PC=38 w_label wn から label 80 に変更 PC=33と PC=61 w_end wn から label 80 に変更
- 11. p.11 図 16 ラベルスタックの左の値を N-a+1 の値から a の値に変更
- 12. p.11 9 行目 「一行目の (72 0.b1.E) はプロセス 0 が PC=72」から「一行目の (4 0) はプロセス 0 が PC=4」に変更
- 13. p.13 左 「ブロック構造を逆方向に時刻する場合には...」のパラグラフを追加

14. p.13 左 「抽象機械の概念を利用した...」から始まる段落中 p.13 「可逆実行環境として,」 \rightarrow 「可逆実行環境が」

以上, よろしくお願いいたします.